第8回　鵡川・沙流川外流域治水協議会

～関係機関が一体となって流域治水をより一層推進～

1．概要

・令和７年３月１７日に流域内のあらゆる関係機関が対面（一部WEB参加）で一同に集まり、令和６年４月１日に変更・公表した「鵡川・沙流川水系流域治水プロジェクト２．０」に基づき、各関係機関の取組・進捗状況の共有や各関係機関との連携事例の紹介について協議を実施した。
・また、流域治水を推進する観点からの課題について意見交換を実施し、流域治水の観点からの予算措置や地域住民との合意形成、個別施策の進め方について共有するなどして、流域治水をより一層推進することを確認した。

2．実施状況

日時：令和７年３月１７日（月）　13:30～15:00
会場：平取町中央公民館　大ホール（web併用：zoom）
出席：室蘭開発建設部長、室蘭地方気象台(代理)、旭川地方気象台長
胆振東部森林管理署長、上川南部森林管理署長、
日高北部森林管理署長、胆振総合振興局長、
上川総合振興局長（代理）、むかわ町長（代理）、占冠村長、
日高町長（代理）、平取町長、
森林整備センター北海道水源林整備事務所所長

3．議事

1）鵡川・沙流川外流域治水協議会の規約について
2）流域治水協議会の経過状況について
3）鵡川水系・沙流川水系流域治水プロジェクトについて
4）鵡川水系・沙流川水系流域治水プロジェクトの更新について
5）厚真川水系・入鹿別川水系流域治水プロジェクトについて
6）厚真川水系・入鹿別川水系流域治水プロジェクトの更新について
7）各関係機関からの情報提供について
8）意見交換

4．主なご意見・コメント等

・コロナ禍の影響もあり、実践的な避難訓練等は最近実施出来ていないが実践的な訓練が必要であると強く感じている。また、当町も人口減少・高齢化の影響が大きく、ほぼ40%の高齢化率となっている現状があり、高齢者に向けた避難情報の伝達方法や避難方法については更に重要性を増していく課題であると認識している。（平取町）
・協定締結について、最近災害級の雨が増えており、被災者の仮設住宅が速やかに確保できないという事が課題となっている。対策として、村では早期対応のため、民間事業者と応急仮設住宅の建設に関する協定を締結した。今後も資材提供を含めて、民間との連携が必要となると考えているため、準備を進めて参りたい。また、避難訓練は毎年必ず実施しているが、住民が避難行動に結びつくような声かけを心がけており、逃げることが最優先であることをしっかりと伝え、早く逃げることへの意識醸成に繋がっていると考えている。（占冠村）